

要請番号 (JL50620A34)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
エチオピア	G183 幼児教育	20~53歳 のみ	個別	新規	2年	・ 2020/2 ・ 2021/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

アジスアベバ市教育局

2) 配属機関名 (日本語)

アディスブラハン幼稚園

3) 任地 (アジスアベバ) JICA事務所の所在地 (アジスアベバ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 0.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

ヤカ・サブシティ教育事務所はアジスアベバ市教育局が管轄している教育事務所の一つで、幼児教育から中等教育に係る運営・管理を行っている。年間予算は300万円。小学校付属の幼稚園として運営されている。園児数約100名、教員数8名。対象園児は、年少のKG1(3-4才)、年中のKG2(4-5才)、KG3(5-6才)がそれぞれ1クラスの計3クラスを運営している。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

2010年に改訂されたエチオピアの就学前教育カリキュラムでは、遊びを通した学び(Play-Based Education)を推進する教育方針が打ち出された。これに伴い、遊びの時間の導入や園児と共に行う作業を重視した授業等、園児が楽しんで学べる環境作りの重要性が少しずつ浸透して来ているものの、未だ幼稚園は小学校入学準備機関としての意味合いが強く、時間割が導入され、英語やアムハラ語、算数と言った教室での学習授業が重要視されている。青年海外協力隊員には、遊びや創作活動を通した幼児教育を実践するために、園児たちの興味を引き出す様々な授業内容の提案や新しい教材の作成等の活動が期待されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

同僚教諭と共に、主に以下の活動を行う

1. 体育や工作、音楽、遊び等を通じて学ぶための環境作りや授業方法についての支援
2. 園児が様々な作業を行えるような実践的保育の実施
3. 現地で入手できる材料を使った教材作りや教材マニュアル等の作成
4. 教育事務所等の行政機関と連携した、技能向上セミナーの企画、実施
5. 周辺地域の幼稚園に対する巡回指導も期待されている

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

教室(幼児用椅子・机・黒板)、園庭、遊具(滑り台等)、手作り教材

4) 配属先同僚及び活動対象者

園長:女性、40歳代

同僚教師:女性6名、男性1名、20-40歳代

園児数約100名。年少(3歳) 年中(4歳) 年長(5歳) 各クラス35-40名

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(幼稚園教諭)
(保育士)

[学歴]：(専門学校卒) 備考：同僚と同等の専門性が
必要な為

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 3年以上 備考：活動に実務が伴
う為

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(ステップ気候) 気温：(10～30℃位)

[電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(不安定)

【特記事項】

活動には、現地語(アムハラ語)によるコミュニケーションが必要となる。アムハラ語は、エチオピア派遣後の現地語学
訓練で学習する。